

輝く 田底っ子

第36号

文責：校長 益永 一幸

田底小 スローガン

① 自分と周りの人を大切にしよう

② 自ら進んで学び、互いに高め合おう

心かがやけ月間 ～一人一人の心かがやく田底小をめざして～

11月は「心かがやけ月間」になっています。今から校長先生は、そのことをお話しします。

心が輝いている時はどんな時ですか。それは、幸せを感じている時の自分、自信ありありの時の自分、やる気満々の時の自分、など心の状態の時です。心の輝きそのものは目には見えないけれど、言葉や行動、しぐさや表情などでわかります。～（中略）～

心が輝くってとてもいいことですね。さて、どんなことをすれば心が輝く人になれると思いますか。思っているだけでは心が輝きません。ヒントは「言葉」と「行動」です。いい言葉といい行動をすれば、自然と心が輝いてくるものです。校長先生は「**心が輝くために、すればいいこと**」を2つ考えました。

- ① **自分から進んで明るい挨拶をすることです。**「おはようございます。」「さようなら、また明日ね。」などです。挨拶は、自分と周りの人の心を輝かせる魔法の言葉とされています。魔法の言葉は他にもあります。「ありがとう。」「ごめんなさい。」などです。田底小に魔法の言葉のシャワーを降らせましょう。
- ② **「ちょっと頑張る」の積み重ねをすることです。**「朝起きが苦手」「野菜が苦手」「漢字や計算が苦手」「宿題が苦手」「人前で話すことが苦手」という人はいますね。でも、こんなのは、いつもより、他の人より「ちょっとだけがんばればできること」ではありませんか。苦手だからできないと決めつけていませんか。心が輝くために、ちょっと頑張ればできることを増やしていきましょう。

では、**心を輝かせるために、してはいけないこと**があります。校長先生は3つあると思います。

- ① **人の悪口を陰で言うということです。**これをする、自分も周りの人もちょっと輝きませんし、暗い影を落とすようになります。これはやめましょう。
- ② **仲間外しをしないことです。**自分とは考え方やしぐさ、雰囲気が違うからと言って、口を利かなかったり、避けたりしていませんか。自分と違うのが当たり前です。違うからいいのです。
- ③ **きまりを守らない、きまりをやぶることです。**みんなが安全で楽しく暮らすためのきまりです。だから、みんなのきまりを守らないと、自分はよくても周りの人が嫌な気持ちになります。

以上の3つは、心が輝くためにしてはいけないことです。

さあ、今月は「心かがやけ月間」です。田底小一人一人の心が輝く11月にしましょう。

シェイクアウト訓練

「自助」自分の命は自分で守る →

「共助」みんなで助け合おう へ

11月5日（金）の昼休み、地震発生時の初動対応の行動を身に付ける「シェイクアウト訓練」を行いました。

安全教育担当の下田教諭から、全校集会時に「だんごむしのポーズ」がどこにいてもとれる事前指導をしました。

家にいた時に地震が起きた場合の「初動」「避難方法等」についての話し合いもぜひしていただきたいと思います。

